

# 京都芸術劇場ニュースレター

## 募集中!

### 【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも快く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はさまざまですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

#### 【会員特典】

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」（年3回）や公演チラシを定期的にお届け!
- ② 京都芸術劇場チケットセンター（窓口・電話・オンラインストア）で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様4枚（公演により異なる）まで割引料金にて購入可能！（公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。）
- ③ 当学主催公演など、会員限定の先行販売あり!
- ④ 春秋座、studio 21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどご案内!有効期限は入金日より1年間です。更新毎に年会費（2000円）をお納めください。

#### 【入会方法】

**Case 1.** 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み（窓口受付/月～金 10～17時）

**Case 2.** 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費2000円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。（振込み手数料別途100円程かかります。）

【口座番号】 00970-7-176517 【加入者名】 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

【通信欄】 ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④FAX(あれば)

【ご依頼人】 お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

### 【友の会感謝デー】開催決定!

10月1日(土) 14:00、恒例となりました友の会会員様限定の会を春秋座にて開催いたします。普段ご覧いただけない劇場バックステージのツアーや、劇場関連グッズがや貴重な品々が当たる抽選会を予定しております。

会員の皆様には、詳細やお申込み方法を後日、お知らせいたします。

### 【オンライン会員】

登録無料! 24時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!

公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。

(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

## 劇場へ行ったら、ここにも行く

観劇のお帰りに、開演までのお時間に。大学にある劇場ならではのお楽しみ。

### 【ADストア 京都造形芸術大学オリジナルグッズ】

白川通に面した正面階段を上りきった上、人間館の2Fにあるショップです。雑誌、文房具から作品制作に必要な画材まで、芸大ならではの多彩な品揃えが自慢です。また、おしゃれな造形大オリジナルグッズも販売。アートディレクションは情報デザイン学科・榎本了彦教授によるもの。お土産にもぴったりで人気です。土曜日は開店時間が短いので、開演前にお立ち寄りいただくのがおすすめです。



オリジナルエコバック:500円(黒・生色り)

手ぬぐい:600円

シール:各80円

クロッキー帳:  
小260円/中360円

営業時間: 月～金 8:45～18:00(土曜は～14:30)

休: 日曜日(日曜のスクーリング開催時などは開店の場合あり) ※授業にともない営業時間に変更があります。

チケットお問合せ先

### 京都芸術劇場チケットセンター

tel. 075-791-8240

営業: 平日10:00-17:00・公演開催日

### 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

### 京都芸術劇場 春秋座・studio 21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

tel. 075-791-9437 fax. 075-791-9438

URL: <http://www.k-pac.org/>  
E-mail: [k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp](mailto:k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp)

### 京都芸術劇場ブログ

<http://www.kyoto-art.ac.jp/blog-theater/>



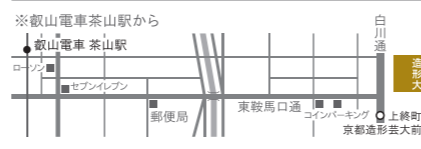
劇場モバイルサイト

### オンラインチケットストア

<http://www.k-pac.org/ticket.html> (パソコンから)

<http://www.k-pac.org/theatre/m/m> (携帯から)

※オンラインでの取り扱いない公演・券種もございます。



◎JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から  
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車  
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

◎京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から  
京都市バス204循環に乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

◎京阪電車出町柳駅から  
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの  
ご来場はお断りします。

発行/編集 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
デザイン 吉羽 一之(シンプルホープ)

## 京都芸術劇場ニュースレター

vol. 19

発行日—2011年7月1日

### 特集

## 歌劇「ラ・ボエーム」全4幕

今、人気上昇中、行列ができるオペラ演出家・岩田達宗さん—1P

企画: 浅田彰、渡邊守章 構成・演出: 渡邊守章

## マラルメ・プロジェクトII 『イジチュール』の夜

豪華メンバーによるプロジェクト。今年の見どころ—2P

ロシア国立サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエ

## 「ロミオとジュリエット」全2幕

切ない恋の物語をユーリー・ペトウホフによる斬新な新演出で—3P

市川猿之助 芸術監督プログラム

## 松尾塾子供歌舞伎

かわいらしくて本格的な子供歌舞伎を—4P



「ラ・ボエーム」演出家・岩田達宗さん。春秋座にて。

9月3日(土)・4日(日)

◎公演情報の詳細は▶P.5

G.ブッチェニ作曲(原語上演・字幕付)

## 歌劇「ラ・ボエーム」全4幕

歌舞伎とオペラができる劇場を—と芸術監督・市川猿之助の思いから作られた春秋座。今、「行列ができる演出家」として人気上昇中の演出家・岩田達宗さんによる、春秋座ならではの演出も見ものです。

『ラ・ボエーム』は、派手な街の喧噪や行進のシーンが有名で、スペクタクルで賑やかな歌劇と思われがちですが、本来は人間の繊細な心の動き—街の片隅で若者達がヒソヒソと囁き合っている、その中に素晴らしい輝きを見つけるという、言ってみれば室内劇であり、心理劇であるんですね。そういうものをオペラでもできるんだと、モーツァルト以来、初めて立証したすごい作品なんですよ。

囁き声をマイクを使わず伝えるというのは、言ってみれば演劇の極論みたいなものですね。だから歌手の息遣いが聞こえるところで、歌い手が生の肉体で劇場を楽器として鳴らすと、こんなにも鮮やかに、こんなにも鮮烈なことが表現できるんだよっていうところを、お見せしたいんです。

春秋座は花道があって、通常、我々が使う劇場と違います。でも逆に、この劇場でどうやって上演するか考えたら自然と面白いものになるんじゃないかなと思うんです。つまり本舞台も使えますけれども、メインは花道を使おうかなって思っているんですよ。生で届けられる距離感を活かして2、3幕は大胆に花道だけを使ってやろうかなって。春秋座の特製をどこまで活かせるか。そうすることで、この歌劇が本来持っている「形」がハッキリと見えてくるように思えるんです。考えるだけでわくわくしますね。

また今回は、関西圏の歌手が多く出演します。これからの大きくなっていく人も含め、ある意味、日本のベストメンバーですね。オーケストラも今回のために集まってくださった方々で、よく色々な方に「このメンツはすごいなー」と言われますよ。

現代にも通じる、若者たちの鮮烈な生き様を通じて、「あ、オペラってこういうものだったのか」って感じていただけたら嬉しいです。

インタビューの本編は京都芸術劇場HPにて連載中。  
<http://www.k-pac.org/>  
プロフィール、あらすじなども合わせてご覧ください。

詩の言葉に潜在している劇的な力を引き出し、音響や映像、ダンスと組み合わせて、21世紀型の新たなパフォーマンスの姿を探る。

## マラルメ・プロジェクトⅡ 『イジチュール』の夜

8月14日(日) 16:00

●公演情報の詳細は▶P.5

2010年7月に春秋座で開催し、好評を得た〈マラルメ・プロジェクト〉の第二弾。

昨年に続き豪華メンバーでお贈りする今年も、マラルメ作品のなかでも難解とされる『イジチュール』を舞台に立ち上げます。

朗読に基づく実験的パフォーマンス  
ステファヌ・マラルメⅡ 『イジチュール』の夜

企画：浅田彰、渡邊守章 構成・演出：渡邊守章

朗読：渡邊守章、浅田彰 音楽・音響：坂本龍一

映像・美術：高谷史郎 ダンス：白井剛、寺田みさこ

昨年、『マラルメ全集』（全5冊、筑摩書房）の完結を記念して、19世紀フランスの詩人ステファヌ・マラルメのテキスト『半獣神の午後』と「エロディアドー舞台」をとりあげ、難解をもってなるマラルメの詩の身体的音楽性を、坂本龍一氏の音楽と高谷史郎氏の映像の展開する春秋座の舞台で、フランス語による朗読で検証する試みを行った。

日本人が、フランス文学の記憶の中でも難解中の難解として知られているマラルメの詩を、あろうことかフランス語で朗読するという途轍もない企画。昨年は、「ワーク・イン・プログレス」という発想から、現代日本の詩人のなかでも、最も詩的言語の身体性に鋭い感覚を持つ松浦寿輝氏の『吃水都市』を、詩人ご自身、ならびに浅田彰氏と渡邊とで朗読した。その際に、マラルメの『半獣神の午後』と「エロディアドー舞台」も、マラルメの詩篇が、現代日本語に翻訳されて、かつ朗読可能であること、つまり、マラルメの詩篇の魅惑的な身体性を実証して見せるという危ない賭けもやってみた。その時点から、次には、どうしても『イジチュール』\*に挑戦すべきであろう、という一種の暗黙の了解のようなものが、我々の期待の地平として立ち現れていた。

表題の「イジチュール (Igitur)」は、ラテン語で「かくて、従って」などを意味する副詞的接続詞だが、ここでは、神なき宇宙の前に、「絶対」として自ら毒を仰いで自殺を企てる若者の名前であり、マラルメの分身である。というのも、1860年代の後半、すでに悪化していたその神経症は、文字を書いたり、語ったりすることも不可能な状態にまで立ち至っていた。それを乗り切るために、自らの存在論的な危機を主題に「虚構の物語」を書くことによって、類似療法（オメオパティー）の、「毒ヲモツテ毒ヲ制ス (similia similibus)」の戦略として、この哲学的小話を構想したのである。

おそらく主題そのものの困難さと、それに見合った言語態の創出の迷路が、詩人にこの「哲学的小話」を完成させなかったが、その没後、娘婿のエドモン・ポニオ博士が、遺稿の束の中から発掘し、1925年にガリマール社から『イジチュール―エルペーノンの狂気』と題して刊行する。未完の、しかも未定稿を解説したものであるにもかかわらず、その断章の中から、「文学そのものの存在論」の最も先鋭な思考が煌いていて、爾来、モーリス・ブランショからジャック・デリダに至る20世紀の文学についての思考の最も先端的な担い手たちが、そこに「書くこと」の根柢に関わる最も過激で深遠な思考を読み取ってきた。こうして、文学創造を論じようとする者にとって『イジチュール』は、避けては通れないテキストとなったのだ。しかし、何分にも未完の未定稿であるから、ポニオ博士の「読み」が、いたづらに哲学的思索の迷路を錯綜させてきたことも否めないのであった。

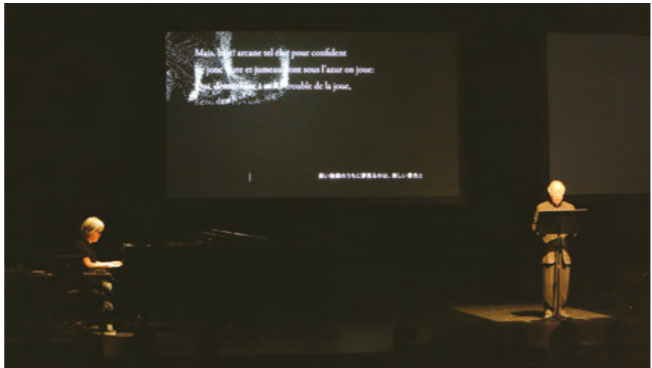
ところで1998年に、マラルメ没後百年を記念して刊行されたガリマール社《ブレイヤード叢書》の校訂者ベルトラン・マルシャルによる、マラルメの自筆草稿からの読み起こしは、従来の「読み」に大きな変更を迫っていた。筑摩版『マラルメ全集1』に渡邊の訳出したのは、このマルシャル版であるが、この新しい「読み」に基づいて、今年も、浅田彰氏と渡邊自身による朗読を背景に、坂本龍一氏による音楽・音響、高谷史郎氏による映像・美術が

展開される。この「語り」の部分は、昨年とは異なって、主として日本語訳を用いるが、『イジチュール』の詩的背景のようにして、いわゆる「-yx」のソネ」や、「エロディアドー舞台」、更には、マラルメの神経症悪化の直接の原因ともなったと想像される「エロディアドー古序曲」がフランス語で読まれる。

2011年ヴァージョンで最も大きな冒険は、ダンスが入ることである。「パレエ」に対するマラルメの関心が顕在化するのには、1880年代になってからではあるが、詩的創造の危機にあるマラルメのテキストを、ダンスによって照らすことは、それほど無謀な企てではあるまい。昨年、渡邊演出のデュラス作『アガタ』（ダンス・ヴァージョン）で瑞々しく、かつ官能的強度に貫かれた舞台を見せてくれた白井剛・寺田みさこ両氏のダンスが加わることで、一層多重的にマラルメの《詩の言語》の宇宙に迫り得る舞台を立ち上げたい。いずれにせよ、『イジチュール』を日本語で、しかも音声を掛けて読むなどというのは、その副題となっている謎めいた「エルペーノンの狂気」の擬態に終わるかも知れない。大胆な植字法の実験である『賽の一投げ』にも匹敵する暴挙であるが、マラルメの生涯を通じて読むときに、この「ローマ街の師」が、決して書齋に閉じこもって社会に背を向けた「隠者」ではなく、音楽（特に管弦楽とオルガンの演奏会）と舞台芸術（サーカスのようなサブカルチャーの身体技を含む）をコアとする同時代の《最新流行》に、常に敏感に感応してきた《祝祭》の人であったことを知っている我々としては、師の《夢》を、まさに孟蘭盆会に当たって、春秋座の舞台にお招きすることは、一つの《祭儀・典礼》として、いかにも相応しいものと信じている。

京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授・演出家 渡邊守章

\*渡邊守章による『イジチュール』本文全訳は、『マラルメ全集1』本冊pp.189-241に、解題・注釈は別冊pp.397-496に読まれる。



※2点とも撮影：清水俊洋

『マラルメ・プロジェクト』  
昨年度の舞台より



マルグリット・デュラス作  
『アガタ』  
―ダンスの境界／語りの境界―

## 8 august 2011

□歌舞伎／主催公演

11日(木) 14:00開演 ◆春秋座  
市川猿之助 芸術監督プログラム ◆特集▶P.4  
**松尾塾子供歌舞伎**

【発売中・全席指定】  
一般 6000円 友の会 5000円 シニア 5500円  
学生&ユース席 1500円 ※座席範囲指定あり。  
◎親子券（一般・シニア1名につき中学生以下2名まで1人2000円で一般席にてご覧になれます）  
※お申込みは京都芸術劇場チケットセンター（窓口・電話）のみ

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 KBS 生協

□舞台／主催公演

14日(日) 16:00開演 ◆春秋座  
マラルメ・プロジェクトⅡ『イジチュール』の夜 ◆特集▶P.2

【発売中・全席指定】  
一般 3500円 友の会 3000円 シニア 3200円  
学生&ユース 2500円 瓜生山学園生 1000円(劇場窓口のみ)

T-C OTS

## 9 september 2011

□オペラ／主催公演

3日(土) 17:00 4日(日) 14:00 ◆春秋座  
G.ブッチーニ作曲 ◆特集▶P.1  
**歌劇「ラ・ボエーム」全4幕**(原語上演・字幕付)

【発売中・全席指定】  
S席 一般 9000円 友の会 8000円 シニア 8500円  
A席 一般 7000円 友の会 6000円 シニア 6500円  
学生&ユース席 2000円 ※座席範囲指定あり。

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 KBS 音協 生協

## 10 october 2011

□シンポジウム／主催公演

2日(日) 14:00開演 ◆春秋座  
**シンポジウム「日本文化と〈性〉」**

本学の田口章子教授を中心に3年計画で09年に発足した「京都のくわと芸能研究会」。これまでの研究活動と昨年のシンポジウムでの成果を受け、今回はさらに視点を拡大し、「絵画」「来入」「信仰・宗教」「芸能・芸道」の4つのテーマの専門家を招いて、「日本の文化と〈性〉」の具体的なお話をしていただきます。座談を通して限りなく学術的に〈性〉をとらえ、日本文化全体の本質に迫ります。

●パネリスト  
「芸能・芸道」 諏訪春雄(学習院大学名誉教授)  
「渡来人」 崔古城(東亜大学人間科学部教授・広島大学 名誉教授)  
「絵画」 田中優子(法政大学社会学部教授)  
「宗教・信仰」 鎌田東二(京都大学こころの未来研究センター教授)  
●司会進行：田口章子(京都造形芸術大学教授・舞台芸術研究センター主任研究員)

【6月27日(月) 発売・全席自由】 500円 瓜生山学園生 無料

T-C OTS

T-C 京都芸術劇場チケットセンター OTS 劇場オンラインチケットストア ぴあ チケットぴあ—http://t.pia.co.jp TEL.0570-02-9999 e+ イープラス—http://eplus.jp  
新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社1F)—TEL.075-256-0007(10-17時 ※土・日・祝除く) KBS KBS京都事業部—TEL.075-431-8300(10-17時 ※土・日・祝除く)  
音協 京都音協プレイガイド—TEL.075-211-0261(10-18時30分 ※日・祝除く) 生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

\*記載のないものについての開場は開演30分前 \*特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金 \*ユースは25歳以下、シニアは60歳以上対象 \*学生・ユース・シニアは身分証明書提示

□講演・レクチャー

3日(月) 16:30 公開連続講座・後期① ◆春秋座  
**日本芸能史「総論 芸能と芸道」** 理論：諏訪春雄

後期全12回 受講料：12000円  
◎問い合わせ 瓜生山エクステンションセンター Tel.075-791-9124  
(9時～17時、土曜～16時)

□ダンス／共催公演

10日(月・祝) 14:00開演 ◆春秋座  
KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2011  
**笠井観新作『血は特別のジュースだ。』**

構成・演出・振付：笠井観  
出演：笠井観、笠井禮示、寺崎礁、定方まこと、鯨井謙太郎、大森政秀

【8月8日(月) 発売・全席指定】  
※(高校生以下)以外、当日券は+500円  
一般 3500円  
学生ユース 3000円  
友の会 3000円  
瓜生山学園生 2500円  
高校生以下 1000円  
(前売・当日共)

T-C OTS

□パフォーマンス／協力公演

16日(日) 13:00／17:00 ◆春秋座  
KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2011  
五感で感じる和の文化事業 『伝統芸能バリエブル』  
京都劇生座 番外編

伝統芸能をさまざまな切り口から紹介する京都劇生座の番外公演。エンターテイメント性の高い舞台を創造し、独自の視点で映像を生み出してきた石橋義正を演出家に迎え、これまでとは違う伝統芸能の魅力をお届けします。

【8月8日(月) 発売・全席指定】 ※(高校生以下)以外、当日券は+500円  
一般 3000円 高校生以下 1000円(前売・当日共)  
学生ユース 2500円

◎問い合わせ：京都芸術センター  
TEL：075-213-1000 FAX：075-213-1004 E-mail：info@kac.or.jp

□講演・レクチャー

17日(月) 16:30 公開連続講座・後期② ◆春秋座  
**日本芸能史「香道」** 理論：畑正高

□パレエ／主催公演

22日(土) 14:00 ◆春秋座  
ロシア国立サンクトペテルブルク・アカデミー・パレエ ◆特集▶P.3  
**「ロミオとジュリエット」全2幕** 作曲：S.プロコフィエフ

【7月14日(木) 発売・全席指定】  
一般 8000円 友の会 7000円 シニア 7500円  
学生&ユース席 2500円 ※座席範囲指定あり。  
◎親子券（一般・シニア1名につき中学生以下2名まで1人3000円で一般席にてご覧になれます）  
※お申込みは京都芸術劇場チケットセンター（窓口・電話）のみ

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 KBS 音協 生協

□講演・レクチャー

24日(月) 16:30 公開連続講座・後期③ ◆春秋座  
**日本芸能史「義太夫」**  
実演：竹本源大夫・鶴澤藤蔵（聞き手：田口章子）

10月22日(土) 14:00

●公演情報の詳細は▶P.5

純愛悲劇の  
最高傑作バレエ

ロシア国立サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエ

## 「ロミオとジュリエット」全2幕



世界的に有名な古典バレエの名作「ロミオとジュリエット」。モンタギュー家の息子ロミオとキャピレット家の娘ジュリエットの美しい悲恋の物語です。サンクトペテルブルク気鋭のバレエ団、ロシア国立サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエの上演でお送りいたします。

\* \* \*

### 見どころ①

バレエ団の前芸術監督であり、振付家としても国際コンクールで優勝するなど、高い評価を受けているユーリー・ペトゥホフによる**斬新な新演出**が見ものです。

### 見どころ②

**原作にはない、運命を司る女王マープ**が登場させることで、若い2人の恋をより強く純粹な愛として描き出しています。

古典作品でありながら、現代作品の要素も含むこの作品は、正統なクラシック・バレエを守りつつ、新しい作品にも挑戦し大成功を収めているサンクトペテルブルク・アカデミー・バレエの良さを十二分に引き出し、魅力的な作品として仕上がっています。

### 見どころ③

今年3月、マリンスキー劇場のプリンシパル(トップダンサー)としても活躍し、日本にも多くのファンを持つ**アンドリアン・ファジェーエフが芸術監督に着任**。数々の賞を受賞している彼の才能で、さらにパワーアップした舞台が楽しみいただけます。

### ロシア国立サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエ

ロシアの文化芸術の都サンクトペテルブルク(旧レニングラード)で、マリンスキー劇場バレエ(キーロフ・バレエ)と兄弟と称されるロシア国立サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエは、1966年にキーロフ・バレエの若手ダンサーを中心に組織されました。

ロシア・バレエの歴史上重要な活躍をしたレオニード・ヤコブソンが中心となり、新しい創作バレエや埋もれていた作品の復活など、意欲的な作品を行い、その意思は現在も受け継がれています。現代作品から古典作品まで80を超えるレパートリーを持ち、世界中の国々で高い評価を受けています。日本へも今回で6回目の来日となり、全国各地で好評を博しています。

### 「ロミオとジュリエット」(全2幕) あらすじ

運命の神である女王マープが支配する世界でロミオとジュリエットの魂が出会い、自分たちの運命の愛を語り始めます。ヴェローナで敵対する2大名門モンタギュー家の息子ロミオとキャピレット家の娘ジュリエットは、舞踏会で出会い、一瞬にして恋に落ち、愛を誓い合います。しかし、両家の争いにより、友人をジュリエットの従兄に殺されたロミオは従兄を殺し、追放されてしまいます。絶望の淵でパリスとの結婚を迫られ、家族からも孤立したジュリエットは夢の中でロミオと結ばれます。

パリスとの婚礼の朝、薬を飲んで仮死状態になったジュリエットは、両親の手によって安置されます。真実を知らないロミオはジュリエットが死んだと思い、女王マープに助けを乞いますが願いは聞き届けられず、ロミオは死を選びます。やがて目覚めたジュリエットは、目の前のロミオの死を知り、嘆き悲しみ女王マープの剣で自

らの胸を刺します。2人の愛は死よりも強く、ロミオとジュリエットの魂は永遠に共にいます。

音楽：S.プロコフィエフ 演出：Y.ペトゥホフ

※音楽は特別録音による音源を使用します。



市川猿之助 芸術監督プログラム

夏休みは、可愛くて  
本格的な子供歌舞伎を

## 松尾塾子供歌舞伎

8月11日(木) 14:00

●公演情報の詳細は▶P.5

松尾塾とは、未来を担う子供たちに歌舞伎を通して日本の良き心を伝えるための非営利教室です。元歌舞伎役者で、当時大阪新歌舞伎座の社長であった故・松尾波壽江初代塾長が、芸で受けた恩恵を現代の子供とその親に歌舞伎を教えることで社会に還元しようと志し、1988年大阪に稽古場を開設しました。

現在、塾生は3～14歳までの関西在住の子供達。一流の講師陣による稽古に励み、舞台に挑んでいます。海外公演では子供レベルの文化交流を果たし、東京国立劇場や大阪国立文楽劇場で毎夏公演するなど、意欲的な活動でTV番組や新聞紙上で多数取り上げられています。

子供たちによる本格的な歌舞伎。今回は親子券もご用意。夏休みにご家族でいかがですか。

過去の公演の様様



神霊矢口渡



傾城阿波の鳴門



釣女

### ●演目

#### しんれいやでちのわたし 神霊矢口渡

日本の南北朝時代の戦争を背景にしたドラマです。足利尊氏側に敗れた父・新田義貞は戦死。息子・義峯は恋人で京都の遊女・うてなと逃げて関東の矢口の渡し場まで来ました。渡し守りの頓兵衛はあいにく留守。娘のお舟は義峯に一目で恋をして家に泊めてしまいます。強欲な頓兵衛は懸賞金を目当てに義峯を殺そうとしますが、身代わりになったのはお舟。悲しい結末の物語はいかに。

\*\*\*

●一言メモ 人形振りを入れたり、幕切れに新田義興の亡霊が出る松尾塾版的一幕です。

#### けいせいあわ なるど 傾城阿波の鳴門 ～どんどろ大師の場～

場面は大阪のどんどろ大師門前。四国・徳島から母を探してやってきた巡礼娘が身の上を語ります。隣で話を聞いていたお弓は、巡礼娘が自分の娘と分かりますが、実は現在、夫が盗賊となり、宝を盗んで追われる身。母子と名乗れぬ苦しさを描いた一幕。娘と別れたあとお弓はたまらなくなつて後を追うのですが…。

\*\*\*

### ●一言メモ

初代塾長・松尾波儂江が大切にしてきた演目で、坂田藤十郎丈も松尾塾版の台本で、南座で上演しています。

ちなみに「どんどろ大師」とは、大阪城近くの空堀町（JR玉造駅）にある善福寺というお寺のこと。大阪夏の陣の戦死者を弔うために建てられ、毎月21日の縁日には多くの人がお参りに訪れます。「どんどろ」というのは、大阪城代で弘法大師への信仰の厚かった土井殿がなまってそう呼ばれるようになったと言われています。

### つりおんな

#### 釣女

狂言の「釣針」を歌舞伎舞踊につくりかえた楽しい作品です。独身の大名と家来の太郎冠者が、西宮神社に詣でて、いいお嫁さんが授かるようにと祈願します。落ちていた釣竿は神様のお告げかと、大名が糸を投げると釣れたのは美人で気高い女性。次に太郎冠者が釣ると、被衣をかぶった振袖姿ですが、被衣をとるとびっくり!!

\*\*\*

### ●一言メモ

演奏に、人間国宝常磐津一巴太夫をむかえた豪華版で上演いたします。

ここに出てくる西宮神社は、1月9～11日に行われる十日戎でも知られる、兵庫県西宮の通称「西宮えびす」のことです。